



雪小だより 7月号

令和8年6月30日
大田区立雪谷小学校
校長 大曾根 努

「はき物をそろえると」

副校長 刑部 潔

紫陽花が色鮮やかな季節となりました。学校では、水しぶきの上がるプールでこどもたちは歓声を上げながら水泳の学習に取り組んでいます。1学期もいよいよあと3週間となりました。これから暑い季節を迎えます。熱中症等で体調を崩さないよう健康管理に十分ご留意いただき、学期末を元気に過ごせるよう、ご協力をお願いします。

さて、校内巡視で校舎内を観察していると、下駄箱の靴がきれいにそろって、思わず「さすが」だと感心しました。ただ靴を入れればよいのではなく、かかとをそろえてきれいに下駄箱に収納する。学校に登校したら、下履きである外靴を、学校から帰るときは上履きをきちんと入れて下校することは、とても大事なことだと思います。当たり前のようにできていることをうれしく思いました。

下の詩は、はき物を揃えることが自分の心を正しくすることにつながっている、ということを教えてくれるすてきな詩です。

はきものをそろえる

はきものをそろえると 心もそろう
心がそろうと はきものもそろう
ぬぐときにそろえておくと はくときに 心がみだれない
だれかが乱しておいたら、だまって そろえておいてあげよう
そうすれば 世界中の人の心も そろうでしょう

円福寺住職 藤本 幸邦

「靴がそろうと、心がそろう」とも言われています。靴が散らかっていると心が乱れている。そろっていれば心が落ち着いている。靴を揃えることは、自分自身を見つめることや自分の行いを見つめ直すことでもあると言えるでしょう。気持ちよく学校生活を送る上でも、靴を揃えていくことから始めてみることを、ちょっとした一人一人の心掛けで、雪谷小学校全体の心がそろうことになると思います。

このことは「学習規律を守る」「教室が常に整理整頓され、気持ちの良い環境の維持」「授業時間と休み時間けじめ」など、学校生活の中で誰もが集中して学習できる場を提供することにつながるのではないかと考えます。

「家に帰ったら靴をそろえる」「身の回りの整理整頓をする」「決まった時間に家庭学習をする」など、こどもたちの成長のために、ぜひご家庭でのお力をお貸しください。こどもたちの無限の可能性を共に伸ばしていきましょう。

7月18日（土）より45日間の夏休みが始まります。今年は午前中に夏季水泳教室と夏休みわくわくスクール（7月30日開催プログラムを除く）を実施します。たくさんのこどもたちに参加してほしいと思います。2学期の始業式に一回り大きく成長したこどもたちに会えることを楽しみにしております。

7月の目標

安全な生活をしよう

楽しく元気よく夏休みを過ごそう

1	水	開校記念日 学習タイム 保護者会（1・2・杉）
2	木	学習タイム ステップタイム
3	金	児童集会 保護者会（3・4） スーパーマーケット見学（3） SC
4	土	
5	日	
6	月	開校記念集会 委員会
7	火	学習タイム
8	水	学習タイム
9	木	学習タイム 安全指導日 社会科見学（3） SC
10	金	児童集会 SC
11	土	
12	日	
13	月	クラブ 避難訓練（地震）
14	火	学習タイム 社会科見学（4）
15	水	学習タイム 避難訓練（地震予備日）
16	木	学習タイム 午前授業 給食（終）
17	金	終業式
18	土	
19	日	
20	月	海の日
21	火	夏季休業日（始） 夏季水泳①（5・6/3・4） 個人面談① SC
22	水	夏季水泳②（1・2/杉） 個人面談②
23	木	夏季水泳③（3・4/5・6） 個人面談③ SC
24	金	夏季水泳④（杉/1・2） 個人面談④
25	土	
26	日	
27	月	夏季水泳⑤（5・6/3・4） 個人面談⑤
28	火	夏季水泳⑥（1・2/杉）
29	水	夏季水泳⑦（3・4/5・6）
30	木	
31	金	夏休みの図書室開館日

SC・・・スクールカウンセラー

水泳学習について

水泳担当 内山 友斗

先月から水泳学習が始まりました。しかし、天候が悪く、なかなか授業が行えていない学年も多くあります。子どもたちからは「早くプールに入りたい」「みんなで入るプールが楽しみ」と楽しんでいる声が聞こえてきます。今年度も検定を行いますので、一人一人が目標をもって取り組んでほしいと思います。

水泳の学習は「楽しい面」がたくさんありますが、同時に「危険な面」もあります。自分自身の命を守るためにも、学習中は指示をしっかりと聞き、安全に活動してほしいです。また、日々の体調管理をしっかりとしていただき、体調に不安がある場合には、無理をしないでください。

水泳の学習は10月初めまで行います。水着等の準備や検温のご協力よろしくお願いします。

本年度の校内研究について

研究推進主任 日野 晶

今年度の校内研究では「非認知能力」をテーマに、「自他共に大切にし、主体的に活動できる児童の育成」を目指して研究を進めています。

近年、AI 技術の発展や社会の急速な変化により、将来の予測が難しい時代となっています。そのような時代だからこそ、知識や技能だけでなく、自分で考えて行動する力、最後まであきらめずに取り組む力、友達と協力する力などを育てることが大切だと考えています。

こうした力は「非認知能力」と呼ばれ、テストの点数では表れにくいものの、学習や生活の土台となる大切な力です。子どもたちは日々の学校生活の中で、友達との関わりや様々な活動を通してこれらの力を育んでいます。

今年度は、子どもたち一人一人の良さや成長を丁寧に見取りながら、非認知能力を育むための指導や支援について研究を深めてまいります。

なお、11月の道徳地区公開講座では、「非認知能力」についての講演会を予定しています。ぜひご参加ください。

「雪フェスを終えて」

3年 担任一同

3年生にとって、今年の雪小フェスティバルは、「お店屋さんデビュー」をする特別なものでした。雪フェスのねらいや約束を踏まえて、何度も話し合い、役割分担をして準備をしました。自分の思いを伝えたり、友達の思いを受け入れたりして、皆で少しずつ譲り合いながら初めてのお店をつくることができました。そんな子どもたちの思いを紹介します。

- ・お客さんが楽しんでくれたことがうれしかった。
- ・たくさんの人が来てくれたことがうれしかった。
- ・お客さんに「楽しかった。」と言ってもらえたのがうれしかった。
- ・みんなで協力したら、楽しくできてうれしかった。
- ・みんなに楽しんでもらえるために、準備を頑張った。
- ・やっぱりお兄さん、お姉さんのお店は楽しいなあ！
- ・来年の雪フェスが楽しみ！
- ・来年の雪フェスも楽しい思い出をつくりたい！

今までのお店屋さんで楽しかったことを基に、主体的に取り組むことができました。

教科の授業とは違った学びと成長の機会となりました。